

平成30年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 商工労働 課
こども未来 こども こども若者企画

1. 基本情報

1103

施設名	伊丹市立労働福祉会館・青少年センター（スワンホール）		
施設の設置目的	勤労市民の福祉の向上を図り、青少年の健全な育成と福祉の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち・未来を担う人が育つまち 施策目標： 活力ある地域産業の振興と創出・子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり 主要施策： 働きやすい環境づくり・子どもの育ち・若者の自立を支援する環境づくり		
指定管理者の名称	伊丹労働者福祉協議会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池2丁目1番地		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設利用者数 (目標値の内訳：労働福祉会館141,000人、青少年センター40,000人)	
	今年度の目標値	181,000	今年度の実績値 150,400

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30 (上期)	H30 (通期)
	来館者数(人)	171,699	171,440	175,365	170,474	161,099	71,491	150,400
	貸し室稼働率(%)	43	44	43	43	42	38	39
	講座開催回数(回)	58	36	37	35	36	28	36
	講座参加者数(人)	624	465	769	970	1,110	700	989

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

〈単位:千円〉

	区分		平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	3か年 平均	
指定管理者の収支	収入	使用料収入	0	0	0	0	
		事業収入	0	0	0	0	
		その他	81	73	62	72	
		指定管理委託料	84, 103	84, 185	84, 266	84, 185	
		①合計	84, 184	84, 258	84, 328	84, 257	
	支出	維持管理	光熱水費	17, 138	16, 615	17, 043	16, 932
			清掃等委託料	22, 462	22, 462	23, 085	22, 670
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	999	1, 000	998	999
		運営	人件費	33, 784	34, 515	32, 921	33, 740
			事業等経費	825	803	816	815
			その他	6, 194	6, 906	4, 553	5, 884
			指定管理納付金	0	0	0	0
		②合計	81, 402	82, 301	79, 417	81, 040	
	純収支（①－②）		2, 782	1, 957	4, 911	3, 217	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ 〈単位:千円〉		H25	H26	H27	H28	H29	H30
	市の収入	33,101	30,012	29,886	29,866	27,411	25,854
	(内、使用料収入)	28,627	27,916	28,954	28,915	26,449	25,132
	市の支出	94,846	97,417	99,441	106,040	100,765	100,423
	(内、指定管理委託料)	80,667	81,831	83,888	84,103	84,185	84,266
	実質経費(歳出-歳入)	61,745	67,405	69,555	76,174	73,354	74,569

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	(1) 環境への取り組みは環境マネジメントシステムで独自目標を設定し取り組んでいる (2) 修繕業務は、予算の範囲内で計画的に行い、10万円を越える案件について事前協議した上で実施。	B	仕様書に基づき概ね適正に管理されている。 市環境マネジメントに基づき、夏季・冬季の節電対策や廃棄物減量にも積極的に取り組んでいる。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	職員研修はOJTを中心に取り組み、遅滞なく業務遂行出来るまでレベルアップするよう取り組んでいる。月1回の休館日を利用した職員会議を開催。	B	適切な職員配置と適時研修を行い、利用者に安全かつ快適に利用してもらえるよう配慮している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡網を整備し、事務所内と夜間対応として警備室に掲示。避難訓練も実施済み。	B	台風等による施設の被害状況や事故対応など休日も含めた連絡体制を確立し、適切に取り組んでいる。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	利用者アンケートを常時設置し、改善できるものについて適時対応を図っている。利用者の要望事項については常時市と連絡調整を図る。利用者数は、前期で長雨や台風の影響もあり前年比約5.5千人の減となった。	B	会館利用のあり方については、公平かつ適正に行われるよう連絡調整を図っている。施設に寄せられる利用者からの要望等については、適時協議を行い改善を図っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	年間の事業計画に基づき市と連携し業務遂行している。プライダル事業については利用件数なし。	B	勤労者向けの自主事業に積極的に取り組んでいる。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	利用者情報は施設管理し、ホームページも適時更新している。その他『青少年センター通信』の発行や掲示物により情報提供している。	B	個人情報の管理は適切に処理されている。ホームページでの情報発信にも適時取り組んでいる。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	協定等に基づき適正に運営し、資料作成の上毎月報告している。	B	収支計画に基づき適切に運営されている。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	全体的には協定及び仕様書の基準を満たす水準である。会館利用者が減少傾向にあり原因調査の上対応を図りたい。今後も施設利用者のニーズに応えるため、アンケート結果のフィードバックするなど、所管課との連携を図りつつ利用満足度の高い施設となるよう改善を続けてほしい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応

【実施期間】平成31年3月1日 ～ 平成31年3月31日

実施の有無			主な対応
有り	施設利用の満足度	満足 69% ※普通26%を除く	利用設備及び備品の点検 利用者アンケートの常時実施とフィードバック 施設内美化・緑化の推進 ホームページの適時更新と内容充実 職員接遇研修の実施
回答者数	施設の清掃	満足 62% ※普通32%を除く	
84	職員の応対や接遇	満足 61% ※普通37%を除く	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置